

清水 一士、長田 哲也(富士吉田)
野口 健介 (大月・上野原)
駒田 明大 (都留)

富士吉田支社(0555)24-1000
FAX 23-6997
都留支局(0554)45-8880
FAX 45-8880
大月・上野原(0554)22-0477
支局 FAX 23-2324



空き家巡回 維持管理

都留の男性 警備会社起業

都留市平栗の志村武彦さん(49)は、市内の空き家をパトロールして施錠の確認や清掃などをする警備会社を設立した。祖父母が暮らしていた家に雑草が生い茂り、近隣住民から苦情を受けた経験から「空き家管理に困る所有者の役に立ちたい」と起業した。増加傾向にある空き家の管理は行政にとっても課題で、市はふるさと納税の返礼品に空き家パトロールを加えた。

市、業務を納税返礼に採用

志村さんはこれまで約20年間、小中学生を対象にした学習塾を経営していた。空き家になった祖父母宅の周辺住民から受けた苦情をきっかけに「県外在住で空き家の様子が確認できないなど、管理に悩む人がいるはず」と考え、昨年5月に警備会社「アルファ警備保障」を設立し、県公安委員会から警備業の認可を受

けた。同社の従業員は約20人。空き家所有者の依頼に基づき①不法投棄されたごみや雑草などの処分と清掃②施錠・電気・ガス・水道メーターの確認③室内の換気や風呂、台所など水回りの確認などの作業を請け負っている。空き家対象の仕事のほかに、工事現場の交通誘導や建



警備業務として空き家の施錠を確認する志村武彦さん—都留市平栗

広域避難 渋滞対策を

富士吉田市 噴火想定での訓練検証



富士吉田市はこのほど、同市の環境美化センターで、自主防災会連絡・連携会議を開き、8月に行った富士山噴火を想定した広域避難訓練を振り返った。参加者は「避難時の渋滞対策をしっかりと検証するべきだ」となごり指摘した。市内の各自治会の防災担当者ら約30人が出席。堀内茂市長は「訓練で多くの課題が出た。課題を解決するため具体的な意見を出してほしい」と話した。

設置場の出入り管理などの業務も請け負っている。市によると、市内には約776軒の空き家(昨年11月1日現在)があり、周辺住民の

生活環境の悪化などが問題視されている。市は9月上旬、ふるさと納税の返礼品として新たに空き家パトロールのサービス提供を追加し、環境改善を図る。志村さんは「市民が安全安心に暮らせるまちづくりに貢献したい」と話している。問い合わせはアルファ警備保障、電話0554(45)6701。